2020年（令和2年）2月10日　月曜日　第731号（毎週1回発行）

本新聞はヤマト運輸(株)に委託して、ポスト投函方式でお届けしています。（郵便物ではありません）

パチンコ・パチスロ業界最新情報

週刊アミューズメントジャパン

Weekly Amusement Japan

2020年（令和2年）2月10日 月曜日

編集・発行所　株式会社アミューズメント プレス ジャパン　〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-21-10 えびすアシスト5F　TEL.03-5447-0555　http://www.amusement-japan.co.jp

週刊アミューズメントジャパンは
毎週月曜日 Webアップ!
PDFでもご覧いただけます
アミューズメントジャパン　検索

Weekly Amusement Japan
©2020 Amusement Press Japan Inc.
editing & publishing
Amusement Press Japan
planning & production
Amusement Promotion
printing
Four Plus One
年間購読料27,000円（税・送料込）
本紙記事の無断転載を禁じます。

今週の紙面から

花を咲かせる楽しさを
『Pデカビスカス』
西陣　2面

注目の2機種を発表
『Pスーパー海物語 IN JAPAN2 金富士』
『S 咲-Saki-』三洋　2面

節目の第十回記念大会
白鵬杯～世界少年相撲大会～
SANKYOが特別協賛　2面

新鬼武者とコラボ
フィールズ　2面

新感覚“おしゃべり”パチスロ
岡崎産業　2面

カンボジアでビンゴカジノ開業
アクロディア　2面

newgin
あそびにマジメ　4面

セガサミーも事業構想を発表

横浜統合型リゾート産業展
IR6事業者一堂に

昨年8月に林文子横浜市長が統合型リゾート（IR）誘致を表明したことで、主要なIR事業者の関心は大阪・夢洲から横浜・山下ふ頭へと移った。その横浜で初めて開催されたIR産業展は多くの注目を集めた。

横浜市が昨年10月に民間事業者からのコンセプト提案募集（RFC）の概要を公表すると、受付期日の12月23日までにラスベガス・サンズ、メルコリゾーツ、ギャラクシー・エンターテインメント・グループ、ゲンティン・シンガポール、ウィン・リゾーツ、セガサミーホールディングス、他1社（社名非公開）の7事業者が提案を提出した。

1月29日・30日にパシフィコ横浜で開催された「第1回 横浜統合型リゾート産業展」（横浜統合型リゾート産業展実行委員会主催）にはこの6事業者がブース出展とセミナー会場でのプレゼンテーションによって、日本への取組をアピールするとあって多くの来場者が訪れた。

初日の午前中に行われた特別講演で横浜市の平原敏英副市長は、世界における日本の地位が相対的に低下しているとしたうえで、横浜市についても2019年から人口減少に転じたこと、観光来街者1人あたり観光消費額が少ないなどの課題を説明。この現状を打開するのがIR誘致による「ハーバーリゾート」の形成だとIR誘致の意義を訴えた。

平原副市長は、市民が懸念しているギャンブル等依存症対策にも言及し、IR内カジノにおける入場管理・規制、自己申告・家族申告制度、市の取組としての予防教育の実施、専門医療機関の選定などを説明した。

ブースを出展した6事業者のプレゼンテーションで最も多くの注目を集めたのは、唯一の日本企業セガサミーホールディングス。会場内は満席で、壁際や後方も立ち見の聴衆で埋め尽くされた。

同社の里見治紀代表取締役社長グループCOOは横浜市が抱える課題を踏まえ、横浜IRを「世界の観光客から選ばれる滞在型目的地」にするとし、IRに集めた観光客を横浜市内の各拠点（商業施設、エンタメ施設、美術・文化施設、観光地、宿泊施設）につなぎ、横浜市内に長く留めることを宣言。

セガサミーホールディングスの里見治紀代表取締役社長グループCOO

そのためのパートナーとして、森岡毅氏率いるマーケティング企業「刀（かたな）」、世界的建築家であるノーマン・フォスター卿率いる「フォスター アンド パートナーズ」、IR内での本格料亭旅館の企画・開発で提携する「京都吉兆」を紹介した。また、韓国・仁川エリアのIR「パラダイスシティ」の日本人スタッフによる運営実績と将来の横浜IRへの人材供給能力をアピール。カジノができることによる負の影響への対策としては、2017年から京都大学と共同でギャンブル依存症の予防策の研究に取り組んでいること、カジノ施設内ではテーブルゲームのデジタル管理・監視化により不正を排除すること、同社がすでにネバダ州で厳格な審査をパスして製造業者ライセンスを得ていることなどを説明した。

ギャラクシー・エンターテインメント・グループのブースは「和」を訴求

同社のプレゼンテーションについてマカオ大学のジョージ・ゴディーニョ教授（ゲーミング法）に感想を尋ねると、「どのオペレーターのプレゼンテーションも素晴らしく、甲乙をつけることはできない」と前置きしたうえで、「需要予測の取組や依存予防研究などサイエンティフィックな印象を受けた」と述べた。

IR産業展にはIR事業者の他、入退出管理、セキュリティー機器、映像機器など39社がブースを出展。来場者は2日間で延べ9631人だった。

警察庁行政講話
依存防止対策の要点

警察庁生活安全局保安課の小堀龍一郎課長が、1月17日に開催された全日遊連の全国理事会で行政講話をおこなった。そこで指摘された依存防止対策の要点についてまとめた。

【講話全文を3面に掲載】

小堀課長は依存防止対策について、まず業界14団体が昨年12月に「パチンコ依存問題対策基本要綱」及び「パチンコ・パチスロ産業依存問題対策要綱」を制定・公表したことに言及。「引き続き、これらの要綱を実施するために必要な実施規程の整備に取り組んでいただきたい」と要望した。

具体的な要望として、広告・宣伝については「本年度中に全国的な指針を策定し公表することとされている。加えて、同指針には、注意喚起標語の一定の大きさや時間の確保等を盛り込むことを検討することとされている。広告・宣伝は、国民の目に広く触れる性質のものであるからこそ、その広告・宣伝に係る依存防止対策が適切にとられているかという点については、とりわけ注目されやすい。その点を十分認識していただき、取組に遺漏のないように」と求めた。

18歳未満の者の営業所への立ち入らせについては、「基本計画に基づき、本年度中に、18歳未満の可能性があると認められる者に対し身分証明書による年齢確認を原則として実施規程として策定・公表することとされている」とし、「改めて、取組に遺漏のないように」と述べた。

自己申告・家族申告プログラムについては、昨年12月末現在で約3600店舗が導入している数字を挙げたうえで、「同プログラムの実効性を担保するためには、導入店舗数をより一層拡大することが重要」と指摘。本人の同意のない家族申告による入店制限の導入及び自己申告・家族申告プログラムの導入店舗のウェブサイトへの掲載についても、「確実な実施を」と要請した。

営業所のATM及びデビットカードシステムについては、「基本計画において、ぱちんこ業界が、本年度中に、その撤去等に向けた検討に着手し、その結果に基づき順次、撤去等を推進することとなっている」と指摘。業界として基本計画に基づく取組を推進するよう求めた。

小堀課長はさらに、旧規則機の撤去の推進などに触れたうえで、「遊技産業健全化推進機構による依存防止対策の実施状況調査等を通じて、各ぱちんこ営業所における取組の実施状況について、PDCAサイクルの中で的確に把握し、適宜改善を推進してもらいたい」と要請した。

依存防止対策の要点

① **広告・宣伝について**
本年度中に全国的な指針を策定し公表

② **18歳未満の者の営業所への立ち入らせについて**
18歳未満の可能性があると認められる者に対し身分証明書による年齢確認を原則として実施

③ **自己申告・家族申告プログラムについて**
本人の同意のない家族申告による入店制限の導入、導入店舗のウェブサイトへの掲載の確実な実施

④ **営業所のATM及びデビットカードシステムについて**
本年度中に、その撤去等に向けた検討に着手し、その結果に基づき順次、撤去等を推進

福祉施設支援活動
大分県遊協

大分県遊技業協同組合は12月5日、県内の社会福祉法人そよかぜ「ふれあいステーションひので」で支援活動を行った。今年で17回目。

この活動は直接的な金品の寄附行為ではなく、福祉施設で定められている作業をしている人に年賀シール貼りを依頼し、仕事のやりがいや喜びを感じてもらうとともに、その労務に対して対価を支払うもの。年賀シールを貼った商品は年始客への挨拶商品として県内のホールが使用した。

施設で作業する様子

台風被害に3千万円
マルハン

マルハンは1月15日から30日にかけて、11都県12市町を訪問。昨年10月に発生した台風19号の被害が大きかった各自治体に計2937万220円を寄付。最寄り店舗の従業員がマルハン全店で実施した募玉・募メダルの善意を首長らに届けた。

寄付の内訳は宮城県丸森町（500万円）、栃木県佐野市（400万円）、福島県郡山市（393万5110円）、同県いわき市（同円）、長野県長野市（250万円）、埼玉県川越市（200万円）、千葉県鋸南町（同円）、茨城県那珂市（同円）、静岡県函南町（100万円）、神奈川県相模原市（同円）、東京都日野市（同円）、群馬県富岡市（同円）。

宮城県丸森町の保科郷雄町長（左から二人目）に目録を手渡す名取店従業員

福祉施設にジュース寄贈
高知県遊協

高知県遊技業協同組合は12月27日、児童養護施設南海少年寮を訪問し、ジュース・お茶など200本を寄贈した。

保護者のいない子どもに支援を行っている同施設には25人の児童が入寮しており、寄贈したジュースはお正月にお年玉として児童に配られた。

施設で寄贈式が行われた

足並み揃えて変化に対応
宮城県遊協

宮城県遊技業協同組合は1月30日、仙台市にあるパレスへいあんで新春経営者研修会と新春懇親会を開催した。

竹田隆理事長は懇親会冒頭の挨拶で「今年から来年にかけて改正健康増進法の施行や依存問題、旧規則機の撤去など大きな変化を迎える。その中で、21世紀会が足並みを揃えて取り組みを行っている。ただ、同じ目的に向かってはいるものの、手段が少しずれているように感じる。今年はそのずれを認識し、調整しながら進んでいくことを期待している」と述べた。

経営者研修会では、県警本部生活安全企画課の松川光太課長補佐の行政講話やPOKKA吉田氏の講演が行われた。

竹田理事長

Sammy
Sammy Plus
2020年2月1日
リニューアル!
早期利用契約特典
締切迫る!!
2020年2月29日まで
詳しくは、サミーの営業担当者もしくは最寄りの営業所まで。

西陣
花を咲かせる楽しさを
『Pデカビスカス』内覧会

西陣は1月31日、都内ショールームで『Pデカビスカス』の内覧会を開催。花が光れば大当たりというシンプルなゲーム性ながら、大量出玉に期待できる一台だ。

関係者も注目の新機種　©NISHIJIN

スペックは大当たり確率1／26・99の確変ループタイプで、34回1セット分の出玉が獲得できる。大当たりは2R（120個）または5R（300個）が34回続き、約4080個から約1万200個（出玉は払出設計値）を払い出す。平均獲得出玉は5610個。盤面右側にあるセグが33で揃えば2R、77で揃えば5Rの大当たりだ。

大当たり終了後は、引き戻し期待度約14％（特図2・保留4個点灯時）の「ハイビチャンス」に突入。4回転以内にデカビスカスが返り咲けば、再び34回1セットの大当たりに突入する。通常時に戻っても最初の3回転でシーサーゾーンに突入すればチャンスアップ。遅い時間からの大逆転も夢ではない。

ホール導入は4月6日からを予定している。

三洋
注目の2機種を発表
『Pスーパー海物語 IN JAPAN2 金富士』『S咲-Saki-』内覧会

三洋は4日、東京支社ショールームで新機種『Pスーパー海物語 IN JAPAN2 金富士』と『S咲-Saki-』（サンスリー製）の内覧会を開催した。

話題の2機種が登場した
©小林 立／スクウェアエニックス・清澄高校麻雀部

『Pスーパー海物語 IN JAPAN2 金富士』は、「ピリっと319バージョン」と「はんなり199バージョン」の2スペック。前作同様、大当たり後は100％STに突入する安心設計だ。

74回のSTは、4部構成。それぞれ期待できる演出が違うため、何度でも楽しめるところが魅力だ。

『S咲-Saki-』は純増約4・0枚／GのAT機。疑似ボーナスと継続バトルで出玉を増やす「咲闘牌AT」は、赤7揃いまたは白7揃いの「BIG BONUS」当選後、出玉減少が無い「麻雀バトル」に突入。バトル勝利でBBに当選し、再び「麻雀バトル」に突入するというシステムだ。

ホール導入は『Pスーパー海物語 IN JAPAN2 金富士』が5月以降、『S咲-Saki-』が4月6日を予定している。

岡崎産業
新感覚“おしゃべり”パチスロ
『みうのおしゃべりパチスロ』プレス発表会

岡崎産業は1月30日、都内ホテルで新機種『みうのおしゃべりパチスロ』のプレス発表会を開催した。

本機は人気声優、徳井青空さんを起用した疑似恋愛体験ができる“おしゃべり!パチスロ”。主人公の天才少女「みう」との会話から、状態推測を楽しむ新感覚のゲーム性が魅力のAT機だ。

出玉率は97.2%（設定1）～110.0%（設定6）

通常時はレア小役成立がAT当選のメイン契機。前兆ゾーン「わたわた」突入でAT当選期待度がアップ。ステップが3段階あり、ステップ3到達でAT当選が濃厚だ。AT「らぶみうたいむ」は、純増約2・7枚／Gの疑似ボーナスで出玉を獲得する。

ボーナスはBBが60G・約160枚、RBが30G・約80枚。1G連時はBB濃厚で、100G以内のボーナスループ率は25％となっている。「らぶみうたいむ」開始時に逆転回転で111G～555G上乗せの「らぶみうたいむすぺしゃる」に突入する。導入は3月16日からの予定。

フィールズ
新鬼武者とコラボ
『新鬼武者～DAWN OF DREAMS～』プレス説明会

フィールズは1月16日、都内でパチスロ新機種『新鬼武者～DAWN OF DREAMS～』（エンターライズ製）のプレス説明会を開催した。

同機は絶大な人気を誇るカプコンの和風剣術アクションゲーム『新鬼武者』がモチーフ。パチンコ・パチスロでも非常に人気が高く幅広い年齢層に大勢のファンがいるコンテンツだ。

©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

本機は純増約3枚のAT機。TYは625枚で、初当たりからしっかりとした出玉の塊が期待できるのが特長だ。

高性能ウーファースピーカー、最新鋭突風発生ユニットなどを実装、高解像度映像表現が可能な最新筐体「DEEP」を採用。さらに映像は最新型ゲームエンジン「アンリアルエンジン4」で制作、新鬼武者の世界観を余すところなく表現した。

導入は3月23日からの予定。

ROXY CASINO BINGO
日本企業 カンボジアでビンゴカジノを開業

IoT製品開発やスマホゲーム開発を行うアクロディア（東証2部上場）が1月23日、カンボジア・バベットのROXY CASINO内にビンゴホールを開業した。

「ROXY CASINO BINGO」が開業したのはベトナムとの国境の街、バベットのカジノホテル「ROXY HOTEL & CASINO」内。現在カンボジアには100軒近いカジノがあるが、唯一のビンゴホールだ。アクロディア（堤純也代表）が東南アジア圏でゲーミングビジネスの経験を有するホートラム・ジャパン（伊達智行代表）と共同で進めてきたプロジェクトで、施設はアクロディアの子会社パシフィック・デルタ・ビンゴ社の運営。

アクロディアはスマホゲーム「サッカー日本代表ヒーローズ」などで知られる開発会社だが、自社開発のオンライン・ビンゴシステムを保有している。

客はビンゴホールに来ると、まず窓口（キャッシャー）でビンゴカードを買う。1ゲーム当たりビンゴカードを何面（単位はフェース）購入するかを選ぶ。当然ながら多くのフェースを購入すればビンゴを獲得する可能性が高まるが、フェース上の数字を目視で確認できるのは、せいぜい6フェースが限界。そのため、それ以上購入したいプレイヤーは、アクロディアが開発した、ビンゴ・システムがインストールされたタブレット端末を使う。タブレット端末は9フェース単位で何枚でも購入でき、数字は自動的にチェックされる。館内で他のカジノゲームをしながら、また、食事をしながらでもビンゴに参加できる。

アクロディアが開発したタブレット用のオンライン・ビンゴシステム

パシフィック・デルタ・ビンゴ社は、このシステムを直営ビンゴホールで運用し収益化すると同時に、東南アジア圏にオンライン・ビンゴシステムを販売していく。ROXY CASINO BINGOはそのためのショウルーム的な役割も期待されている。また、ビンゴホール事業に参入したい日本企業の支援も行う考えだ。

バベットのカジノを訪れる客はほぼベトナム人。ベトナム、カンボジアではビンゴゲームはほぼ知られていない。新しいゲームがどれほどのスピードで普及するか注目される

全国大会表彰式を開催
グローバルアミューズメント

サービス業向け業績向上コンサルティングなどを行うグローバルアミューズメントは1月29日、同社会議室で店舗環境の改善を目的とした「第3回店舗環境価値全国コンテスト」の表彰式を開催した。

右から青山代表、SLOT ROCKYの刈谷次長、コンサートホール調布店の平見店長、上木戸店の横山店長、同社の冨所氏

参加店舗数は182店舗で、昨年8月20日から11月29日の期間中に全店舗を回り、100項目ある調査項目の採点を行った。その中で好成績を収めた店舗にのみ贈られる最優秀ダイヤモンド店は、「SLOT ROCKY」（愛媛県）、「コンサートホール調布店」（東京都）、「コンサートホール上木戸店」（新潟県）、「パチンコ日野ビルライト館」（広島県）の4店舗。また、コンテスト参加企業の中で平均点が高い企業に贈られる法人賞は、「コンチェルト」と「鳥取ワールドカップ」が受賞した。

青山真将樹代表は「今回、高得点を獲得した店舗の傾向は主に3つ。来店客のマナーの向上、低貸しホール・コーナーでもハイクオリティを維持していること。そして、ホールの自動化が進む中、限られた人員で環境の向上に尽力した店舗。特に女性スタッフの活躍が目立った」と総評した。

白鵬杯～世界少年相撲大会～
節目の第十回記念大会
SANKYOが特別協賛

「第十回白鵬杯～世界少年相撲大会～」が2日、東京・両国国技館で開催された。第69代横綱の白鵬関が「次世代に何を残せるのか」と考えて始まったこの大会。2014年の第4回大会からSANKYOが特別協賛している。

13の国と地域から過去最多1134人が参加した

十回目の記念大会は過去最多となる13の国と地域から過去最多1134人の少年力士が参加した。出場予定だった中国チームは新型コロナウイルスによる影響で来日を取りやめた。

参加国の内訳はアメリカ、ウクライナ、エストニア、オーストラリア、韓国、台湾、タイ、ブラジル、ブルガリア、香港、モンゴル、ロシアと日本。

開会式で挨拶に立った白鵬関は10年を振り返り関係者に感謝を伝えた上で、「今年は日本に、東京にオリンピックがやってくるので、相撲をやっているいろんな国々に声をかけ、なんと今年13カ国を招待することができました。ジュニアオリンピックに参加していると思って、力一杯頑張ってください」と子どもたちに呼びかけた。

IGSAジャパン セミナー開催
ゲーミング産業への参入支援

アメリカに本拠を置く非営利法人インターナショナル・ゲーミング・スタンダーズ・アソシエーション（IGSA）日本支部は1月28日に都内でセミナーを開催した。

ピーター・ドゥレット IGSA会長

IGSAは1998年に設立されたゲーミング産業界における各種の規格・標準（スタンダード）の策定を推進する国際的な団体。日本でも馴染みのあるアリストクラート・テクノロジーズ、IGT、セガサミークリエイションなどのゲーミング機器メーカー、JCMグローバルなどの周辺設備メーカー、2大検査機関のGLIとBMMなど様々な領域の企業約60社が会員になっている。

この日はIGSA会長のピーター・ドゥレット氏らが来日し、IGSAの歴史や組織形態を説明した。IGSAの委員会は、ランドベース・カジノにおけるゲームに関連した、ゲーム・システム間委員会（G2S）、ゲーム機器標準化委員会（GDS）、システム間委員会（S2S）、データ移送委員会（XPT）など全部で11ある。

ドゥレット会長は、日本の状況を踏まえ、「IGSAの運営メンバーも会員も様々な分野の豊富な経験を持っている。会員企業は、必要とする知識を得るためにメンバー企業とコンタクトを取ることによって、サポートを受け、偏りのない情報を得て活用することもできる」と会員企業のメリットを説明した。

エンターライズ　新規則機
新鬼武者～DAWN OF DREAMS～
問い合せ／フィールズ㈱　導入予定日 3月23日

©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

自力感に満足できるレア役直撃BONUS

BONUSへの初当たりルートは3つ。レア役による直撃、ゲーム数による当選、CZからの当選が非常にバランス良く振りわけられていて、6号機にありがちな「ゾーン以外は退屈」ということがない。中でもレア役による直撃が6割程度を占め、自力でBONUSを引けるというイメージが稼働向上に大きく貢献している。BONUSのうち「鬼ノ試練」消化中は継続をかけたバトルが繰り広げられ、3連勝で継続＋上乗せ特化ゾーン確定となる。「幻魔闘BONUS」中のバトルは2勝で継続確定＋上乗せ特化ゾーン抽選。3連勝で継続＋特化ゾーン確定となる。

ATタイプ（純増約3枚／G）
BONUS初当たり確率：1/299.8（設定1）～1/161.0（設定6）
AT初当たり確率：1/786.0（設定1）～1/324.7（設定6）
出玉率：97.9%（設定1）～110.0%（設定6）

Daiichi　新規則機
P天昇! 姫相撲
問い合せ／㈱大一商会　導入予定日 3月2日

パチンコの常識を変える天上天下の大横綱スペック

通常時は前兆突入or直当たりを目指す。直当たりルートはSPリーチに発展、バトル勝利で初当たり「天昇チャンス」となる。前兆ステージルートは、規定回数消化で必ずSPリーチが発生。最大16回転継続し、演出成功で初当たり「天昇チャンス」獲得となる。「天昇チャンス」獲得後は確変「大横綱ロード」or通常「激闘」の突入ジャッジ演出が発生。97%で「大横綱ロード」に突入する。「大横綱ロード」は60%でループする。

ミドルタイプ
天昇チャンス発生確率：約1/406　※条件装置作動確率とは異なります
低確率：1/40.96　※「天昇チャンス」・「超開眼チャンス」・「鍛錬系（成功or失敗）」いずれかが当選
高確率：1/32.0
小当たり確率：1/1.03
確変比率：約60%
大横綱ロード継続率：約74%　※超開眼チャンスを含む継続率となります
超開眼チャンス：31回　※規定回数消化または師弟対決発生で終了
賞球数：3&1&4&2&15

西陣　新規則機
Pデカビスカス
問い合せ／㈱西陣　導入予定日 4月6日

©NISHIJIN

光る“デカ”ビスカス「右打ちに夢がある!」

通常時の打ち方は1穴クルーンを狙い、風車下のGO始動口を目指す。GO始動口入賞で盤面中央のメーターが上昇。デカビスカスまでたどり着き、「キュイン!キュイン!」と光れば大当たり。34回1セットの大当たりは連チャン性もあるので、大量出玉獲得に期待が持てる。注目ポイントは、シーサーの目や盤面下部の左右ランプ。シーサーの目は赤でチャンス、左右ランプの発光は緑<紫<赤の順番でチャンスアップだ。

役物タイプ
大当たり確率：1/26.99→1/16.28
確変割合：100%（34回1セット）
ラウンド数：2Ror5R・4カウント
賞球数：1&3&4&15

アクロス　新規則機
沖ドキ! 2-30
問い合せ／㈱ユニバーサルエンターテインメント　導入予定日 5月

©UNIVERSAL ENTERTAINMENT

沖ドキ！シリーズ最速の正統後継機

30φ市場に新たなカテゴリーを確立した沖ドキ！シリーズの正統後継機。純増4.0枚はシリーズ最速だ。有利区間終了後は約25%で通常B以上。通常Bからは50%超で天国以上に移行するなどモードシステムも改良進化した。32G以内のボーナス当選を期待できる基本的なゲーム性は沖ドキ！をそのまま継承。32G以降も引き戻しのチャンスがある。「サプライズフリーズ」はれぎゅらーぽーなすと見せかけた新フリーズ。7・7・BARの図柄が止まった後ストップボタンが押せず、全消灯してハイビスカスランプとドキドキランプが点灯してびっぐぽーなすに昇格、「超ドキドキモード」が確定する。

ATタイプ（純増4.0枚／G）
ボーナス獲得枚数：びっぐぽーなす 約220枚（AT55G） れぎゅらーぽーなす 約60枚（AT15G）
AT初当たり確率：現在調査中
出玉率：現在調査中

アクロス　新規則機
サンダーVライトニング
問い合せ／㈱ユニバーサルエンターテインメント　導入予定日 4月

©UNIVERSAL ENTERTAINMENT

伝統と革新を形にした名機が6号機初登場

ノーマルタイプの名機サンダーVが6号機で初登場。すべての出目に可能性がある「予告音＋消灯＋フラッシュ」という伝統の演出は継承。ミニ液晶と連動した新規演出法則や新演出「RIZIN ZONE」を搭載したほか、目押し頻度を少なくするなど革新的な要素も多数盛り込んだ。「RIZIN ZONE」はBIG後に必ず、REG後は抽選で突入する専用演出モード。30～100Gor次回ボーナスまで継続し、レア役とボーナスを完全告知する。BIG獲得枚数は最大251枚と6号機ノーマルタイプ最多クラス。旧規則機から新規則機へファンにシフトしてもらう貴重な橋渡し役にもなりそうだ。

ノーマルタイプ
ボーナス獲得枚数：BIG 最大251枚　REG最大104枚
ボーナス合成確率：現在調査中
出玉率：現在調査中

サミー　新規則機
デジハネPあの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。
問い合せ／サミー㈱　導入予定日 3月上旬

©ANOHANA PROJECT　©Sammy

RUSH中80%が10R あの感動をより身近に

感動的な原作シーンを徹底的な作りこみで再現した“Pあの花”が、デジハネで登場。継続率70%超の「龍勢RUSH」（時短7回+残保留4個）では、約900個を払い出す「ずっとなかよしぽーなす（10R）」の割合が80%を占めるため、突入時の出玉期待感は高い。主な突入契機は、初当たりの9割を占める「あのはなBONUS」後の「かくれんぼちゃんす」（時短1回+保留4個）から。直行ルートや通常時の電チューロング開放も健在だ。

甘デジタイプ
図柄揃い確率：通常時（※1）約1/99.9（設定1）～約1/84.0（設定6） 右打ち時（※2）約1/9.54（設定1）～約1/9.37（設定6）
賞球数：2&3&4&5&9
時短突入率（※3）：ヘソ100%、電チュー100%
時短回数：1回or7回
ラウンド数：4Ror10R・10カウント

※1「あのはなちゃんす（最大4回）」成功を含んだ合成確率
※2 小当たり経由を含む
※3 小当たり時はV通過が時短突入の条件

New Machine Digest

機種情報について　▼時短はSTを含めた回数です　▼パチスロのボーナス枚数は、すべて純増です　▼導入予定日（最速）は納品日ではなく、オープン日を指します　▼問い合わせ先は各社最寄りの営業担当まで　▼スペックはアミューズメントジャパン調べ

行政講話

積極的な依存防止対策を

警察庁生活安全局保安課 小堀龍一郎 課長

全日本遊技事業協同組合連合会 全国理事会における講話 2020年1月17日 於 第一ホテル東京

1月17日に開催された全日遊連の全国理事会で、警察庁生活安全局保安課の小堀龍一郎課長が行政講話をおこなった。本年度も「依存防止対策」に積極的に取り組むように要請したほか、射幸性の抑制、不正改造の絶無、広告・宣伝等の健全化の徹底などを求めた。

ただいま御紹介にあずかりました警察庁保安課長の小堀でございます。本日、着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

皆様方には、平素から警察行政の各般にわたりまして、深い御理解と御協力を賜っているところであり、この場をお借りして御礼申し上げます。

ぱちんこ業界の皆様方におかれましては、東日本大震災や熊本地震の発生以来、継続して取り組まれている復興支援活動をはじめ、昨年は台風15号や19号等の被災地支援活動に取り組まれたと承知しています。加えて、低炭素社会実行計画に基づく節電・省エネルギー対策等の社会貢献活動にも積極的に取り組まれていることに対しましても、改めて敬意を表する次第であり、継続した取組をお願いします。

さて、ぱちんこは、我が国の代表的な娯楽として親しまれておりますが、依然として、ぱちんこへの依存問題のほか、遊技機の不正改造事犯、賞品買取事犯、違法な広告宣伝等が後を絶たず、健全化を阻害する要因がいまだ多く存在することも事実であり、また、各事業者による法令遵守の徹底が強く求められているといえます。

貴連合会を始め、業界の皆様におかれましては、業界が置かれている厳しい現状について危機意識を共有していただき、適切かつ着実に取組を進めていただきたいと思います。

さて、本日はこのような場をいただきましたので、業界の健全化を推進する上で特に必要であると考えていることについて、何点かお話をさせていただきます。

依存防止対策

最初に、ぱちんこへの依存防止対策についてお話しします。

まず、昨年4月に閣議決定された基本計画においては、ぱちんこ業界が、ぱちんこへの依存防止対策に係る実施規程として「要綱」を制定公表するとされているところ、昨年12月に「パチンコ依存問題対策基本要綱」及び「パチンコ・パチスロ産業依存問題対策要綱」が制定・公表されたものと承知しております。貴連合会はこれらの要綱の取りまとめに尽力されたものとも承知しておりますが、引き続き、これらの要綱を実施するために必要な実施規程の整備に取り組んでいただきたいと思います。

この点、広告・宣伝については、基本計画において、ぱちんこ業界が、ぱちんこへの依存問題の発生の抑止に資するものとなるよう、本年度中に全国的な指針を策定し公表することとされています。加えて、同指針には、注意喚起標語の一定の大きさや時間の確保等を盛り込むことを検討することとされているところ、広告・宣伝は、国民の目に広く触れる性質のものであるからこそ、その広告・宣伝に係る依存防止対策が適切にとられているかという点については、とりわけ注目されやすいものであると思います。したがいまして、その点を十分認識していただき、取組に遺漏のないようにお願いします。

また、18歳未満の者の営業所への立ち入らせについても、基本計画に基づき、本年度中に、18歳未満の可能性があると認められる者に対し身分証明書による年齢確認を原則として実施する方法について策定・公表することとされているところです。昨年、貴連合会が組合員に対して実施された「依存対策実施状況調査」においては、18歳未満の可能性がある者に対する身分証明書による年齢確認についてすでに99％以上の店舗で実施しているという結果であったと承知しているところ、改めて、取組に遺漏のないようにお願いします。

次に、自己申告・家族申告プログラムについては、昨年12月末現在で約3600店舗が導入していると承知しております。しかしながら、同プログラムの実効性を担保するためには、導入店舗数をより一層拡大することが重要です。既に一部のホール経営企業においては、全店舗へ同プログラムを導入するなど、導入店舗数拡大の動きは進んできているものと承知しておりますが、同プログラムの導入の有無が各営業所における依存防止対策への取組姿勢を判断するメルクマールの一つとなり得ることを認識し、貴連合会におかれましては、同プログラムの更なる普及を図っていただきたいと思います。加えて、本年度中に開始することとされている、本人の同意のない家族申告による入店制限の導入及び自己申告・家族申告プログラムの導入店舗のウェブサイトへの掲載についても、確実な実施をお願いいたします。なお、本プログラムの運用に当たり、申告対象者の把握を容易にする取組として、顔認証システムの活用に係るモデル事業を行っていただいている大手ホール経営企業もあるものと承知しており、高く評価したいと思います。こうした先進的な取組についても他の事業者に広がることを期待しています。

次に、営業所のATM等の撤去等についてです。ATM及びデビットカードシステムについては、基本計画において、ぱちんこ業界が、本年度中に、その撤去等に向けた検討に着手し、その結果に基づき順次、撤去等を推進することとなっています。基本法により設置されたギャンブル等依存症対策推進関係者会議では、複数の委員からATMに対して厳しい意見が出されているところ、こうした議論を踏まえ、同会議等において賛同が得られるかという視点にも考慮した上で、業界として基本計画に基づく取組を推進するようお願いします。この点、先日、日本遊技関連事業協会の会員である複数のホール経営企業が、現在営業所に設置しているATMについて順次撤去していくこととしたと承知しておりますが、他の事業者や事業者団体に先んじて取組を進められることを高く評価したいと思います。貴連合会におかれましても、業界内でのこうした動きを十分に踏まえ、着実に取組を推進されることを期待しております。

次に、出玉規制を強化した遊技機の普及については、令和3年春までに、全ての遊技機を新規則に適合するものに入れ替える必要があるところ、本年の後半には新規則機に対する需要が相当な量となり、供給が追いつかないことも懸念されることから、引き続き、計画的に旧規則機の撤去等を進めていただきますよう、よろしくお願いします。

さて、今申し上げたようなギャンブル等依存症対策の実効性を最大限に確保するためには、徹底したPDCAサイクルにより計画的な取組を推進することが重要であるとされております。そこで、今般新たに行われる一般社団法人遊技産業健全化推進機構による依存防止対策の実施状況調査等を通じて、各ぱちんこ営業所における取組の実施状況について、PDCAサイクルの中で的確に把握し、適宜改善を促進してもらいたいと思います。

また、基本計画には、警察が行うべき取組も記載されており、各都道府県警察においては、ぱちんこ営業所に対する立入り等を通じて、依存防止対策に係る措置が適切にとられているかの確認を随時行うこととしておりますので、御承知おきください。

さらに、基本法においては、毎年5月14日から同月20日までをギャンブル等依存症問題啓発週間と位置づけているところ、昨年は初日の5月14日に「パチンコ・パチスロ依存問題フォーラム」が開催され、多くの方が参加されたと承知しています。本年以降も引き続き、ギャンブル等依存症問題に関する関心と理解を深めるという啓発週間の趣旨にふさわしい取組がなされることを期待しています。また、個別のホール企業の取組として、依存による問題の予防と拡大防止に向けたセミナーを地域の自治体の保健福祉部局等とともに継続開催しているといった事例を把握しているところ、今後の普及啓発に係る取組として参考にしていただきたいと思います。

そのほか、自助グループをはじめとする民間団体等に対する経済的支援については、昨年11月、貴連合会を中心に新たに「パチンコ・パチスロ社会貢献機構」を設立されたものと承知しておりますところ、引き続き、ぱちんこへの依存問題の予防と解決に取り組む団体等に対する積極的な支援をお願いいたします。

以上、ぱちんこへの依存問題への対策についてお話ししてきましたが、この依存問題については、国会や報道等においても大きく取り上げられており、皆様の業界としての取組が注目されています。昨年9月19日付けで、貴連合会を始めとする各ホール関係団体に対し、基本計画に掲げられた各施策に係る先進的な取組について、随時報告していただくことをお願いしたところです。昨日も、先ほど申し上げた各種依存防止対策に関する取組について報告を受けたところでありますが、警察庁としてもこうした取組については引き続き積極的に紹介していきたいと考えておりますので、各営業所や各事業者団体における創意工夫ある率先した取組に期待しています。

射幸性の抑制

次に、射幸性の抑制に向けた取組についてお話しします。

射幸性の抑制に向けた取組として、業界を挙げて、新基準に該当しない遊技機の撤去に努めていると承知しております。そのうち、「特に高い射幸性を有すると区分した回胴式遊技機」については、昨年から延期されていた各営業所における設置比率を15％以下とする削減目標について、その期限を本年1月31日までとし、また、元々本年1月31日までに各営業所における設置比率を5％以下とするとしていた目標については延期する決議をされたと承知しております。一方で、業界の一部では、当初の目標達成に向けて会員企業に対し積極的に周知を徹底する取組もなされていたと承知しております。ぱちんこへの依存問題等により、ぱちんこ業界に対し、国民から厳しい視線が向けられていることをよく認識した上で、依存防止対策と同様に、各営業所、そして各事業者団体が率先して積極的な取組を進められることを期待しています。

不正改造の絶無

次に、遊技機の不正改造事犯等の絶無についてお話しします。

まず、いわゆるくぎ曲げについては、営業所において遊技くぎを曲げて検定機と異なる性能を創出する事案がいまだに継続して発生しており、昨年も複数の検挙事例が見られるところです。これまでにも、そのような事案は射幸性の適正管理を侵害する悪質な不正改造事案であると申し上げているところ、それでもなお行われるくぎ曲げについては、厳しく取締り等を行う必要があると考えています。

貴連合会におかれましては、引き続き正しい認識を全国の各組合員に理解していただくよう周知徹底を図ることはもとより、業界全体をリードして、こうした問題の絶無に向けて積極的に尽力されることを期待いたします。

次に、悪質巧妙化している不正改造については、これに対処するため、ぱちんこ営業者、遊技機製造業者という垣根を取り払い、事案の情報共有や有効な防止対策を業界全体で模索し、効果的な施策をより一層推進していただきたいと思います。

また、一般社団法人遊技産業健全化推進機構の立入検査においては、減少はしているものの、いまだに不正改造等の容疑が認められたとして都道府県警察に通報がなされた事案が散見されますので、業界として引き続き緊張感を持って不正改造の絶無に向けた取組の推進をお願いいたします。警察といたしましても、今後とも、推進機構と積極的に連携しつつ、不正改造事犯に対しては、厳正な指導・取締りを推進してまいりたいと考えております。

なお、推進機構においては、先ほど申し上げたとおり、ぱちんこ営業所における依存防止対策の実施状況調査についても今月から開始されているものと承知しております。業界にあっては、引き続き、この調査が実効性をもって円滑に行われるよう、推進機構への支援等をお願いいたします。

流通における業務の健全化

次に遊技機の流通における業務の健全化についてお話しします。

遊技機の流通については、その過程において型式の同一性が担保されるよう「製造業者遊技機流通健全化要綱」等が制定されて以降、業界における制度の理解も促進されていると伺っております。引き続き、遊技機の流通に携わる関係者が正しく制度を理解するための取組を継続していただきたいと思います。

また、遊技機の廃棄処理については、これまでも適正に行っていただいているものと認識しておりますが、今般の規則改正に伴う遊技機の入替により、今後全ての旧規則機が廃棄されることとなるところ、現状においてもホールの倉庫等に今後設置することのない遊技機が大量に保管されているという話も聞こえてきており、そういったものが一度に廃棄に出されれば、廃棄処理が追いつかなくなるのではという懸念もしているところであります。そこで、貴連合会におかれましては、関係団体ともよく調整の上、計画的な遊技機の廃棄処理が各営業者において進められるよう尽力していただきたいと思います。過去、遊技機の野積み問題により、業界全体が大きな非難を浴びましたが、このようなことが繰り返されぬよう、先ほど申し上げた計画的な旧規則機の撤去等に加え、適正かつ計画的な廃棄処理についても遺漏のないようお願いします。

以上、ぱちんこ営業の健全化を推進する上で特に留意していただきたい点を申し述べました。

ぱちんこ産業は、遊技人口が減少傾向にあるとはいえ、なお、非常に多くの方々が参加している娯楽産業であります。ぱちんこへの依存防止対策等の各種課題は山積しております。また、この各種課題は、必ずしも風営適正化法上のものに限られるものではなく、例えば本年4月には改正健康増進法が全面施行されるところ、同法を含め法令遵守が各事業所に強く求められることは言うまでもないことであります。いずれにせよ、業界が一丸となって、一つ一つ迅速かつ真摯に対応していただきたいと思います。その実現があってこそ、ぱちんこが健全な娯楽たり得ると考えます。他方で、今後とも健全化を含む各種課題に真摯に対応する皆様から要望等があれば、我々も真摯に耳を傾ける所存です。

結びに、貴連合会のますますの御発展と皆様方の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、私の話を終わります。

賞品に関する問題

次に、ぱちんこ営業の賞品に関する問題についてお話しします。

まずは賞品買取事犯の根絶についてです。

賞品買取行為の規制違反は、いまだに継続して発生しています。賞品買取行為の規制は、ぱちんこ営業と賭博の一線を画す上でも重要な規制であり、ぱちんこ営業の根幹に関わるものであることから、警察といたしましても、賞品買取事犯に対しては引き続き厳正な取締り等を行っていくこととしておりますが、貴連合会におかれましても、今一度、営業者一人一人にまで、賞品買取行為の規制の重要性について周知徹底していただきたいと思います。

次に、賞品の取りそろえの充実及び適切な賞品提供の徹底についてです。

平成18年にぱちんこ営業者関係5団体によりなされた「ぱちんこ営業に係る賞品の取りそろえの充実に関する決議」について、今一度、この決議の重要性を認識し、そうした意識が業界の共通認識となるよう貴連合会が業界をリードしていただきたいと思います。

また、今一度、各ぱちんこ営業者にあっては、自身の営業所の賞品が等価交換規制を遵守したものとなっているか確認していただくようお願いします。

広告・宣伝等の健全化の徹底

最後に、広告・宣伝等の健全化の徹底についてお話しします。

広告・宣伝等の規制については、特定の日に特定の遊技機を示し、イベント開催を告知して射幸心をそそるものや、隠語を用いて規制の目をかいくぐろうとするような悪質な事案がいまだに発生しております。このような違法な広告・宣伝等については、今後も指導・取締りを行っていきますが、依存防止対策の観点からも広告・宣伝の在り方が問われていることを踏まえ、業界自らの取組によって健全化が進められるよう努めていただきたいと思います。

近日内覧会開催予定

詳しくは、最寄りの支店・営業所または、担当の営業マンまでお問い合わせください。